日本AEM学会誌　論文投稿票

（MAGDA2022同時投稿用）

投稿日：　　　年　　月　　日

論文題目：

著者名：

論文種別（□⇔■）： □　学術論文 □　技術論文 □　研究ノート

論文の専門分野： □　電磁力応用 □　電磁場解析 □　電磁材料 □　生体磁気

論文の性格： □　純然たる理論 □　実験結果の報告

 □　理論と実験結果の比較 □　試作品あるいは製品化の報告

連絡先： 氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　会員番号　正・学

所属

 住所

　　　　TEL　　　　　　　　　　　　　　　　FAX

 E-mail

英文概要の和訳：

日本**AEM**学会誌　フォーマットチェック表

（MAGDA2022同時投稿用）

※　ポイント

MAGDA2022関連（□⇔■に変更　または　チェック）

□原稿フォーマットは，MAGDA2022のホームページからダウンロードしたもの

（format-MAGDA2022.docx）を使っていますか

表題等

□和文表題はゴシック 14になっていますか

（和文は強調書体にするとPDFに変換したとき滲んでしまいます。強調書体にしないのが印刷のルールです。）

□英文表題はTimes New Roman 10強調書体になっていますか

□執筆者表記は、和文：MS明朝 10、欧文：Times New Roman 10になっていますか

□著者名表記において，和文では姓名の間に全角１文字を開けていますか。英文では，姓は大文字になっていますか。複数著者の場合andを使用していませんか。また，著者名の間は，和文では全角のカンマ「，」，英文では半角のカンマと半角の空白”, ”になっていますか

□アブストラクトと*Keywords:*は欧文でTimes New Roman 9になっていますか

□アブストラクトと*Keywords:*の間に１行の空行がありますか

□*Keywords*の最後の単語の最後にピリオドはつけてありますか

図表関係

□カラーで作成された図をモノクロで印刷すると見づらくなるものがありますが，モノクロでも判別できる図ですか
※学会誌はモノクロ印刷となることからカラーでの投稿の際に特に注意してください

□図表のキャプションは英文表記でTimes New Roman 10になっていますか

□図表のキャプションの番号と文字の間隔は半角スペース2文字になっていますか

□図表のキャプションが2行以上にわたる場合には、行間が固定値14ptとなってますか

□図中に日本語表記（日本語フォント）は使用していませんか

□キャプションの最後にピリオドはつけてありますか

□折り返しがあるときは、左右中央揃えではなく、中央揃えです。正しく表記されていますか

□図柄がすべて表示されていますか。図柄の上にキャプションが乗ってしまって、見えなくなっていませんか

□グラフ等においては，複数個のプロットを区別するために，線種（実線，破線，点線，鎖線）や線の太さの違いによる識別や異なるマーカの使用による識別となっていますか

見出しの表記

□見出しの番号は通っていますか

□章，節のフォントは見本通りになっていますか

　章見出しにおいて番号の後は全角空白1文字で，節・項は半角空白１文字です

□「１　緒言」を「１　諸言」と誤記する方が少なからずいらっしゃいます。正しく表記されていますか

□2行にわたる場合は行頭揃えです。正しく表記されていますか

□見出しの行間隔は段落前後0.5行です

本文表記

□本文のフォントは、和文：MS明朝 10、欧文：Times New Roman 10です。正しく表記されていますか

□文の区切りは「，」と「。」です。統一されていますか

□記号や数式の変数・定数等の量記号はイタリックで統一されていますか

□単位記号は立体で統一されていますか

□式は左右中央表記になっていますか

□式番号は右寄せ表記になっていますか

□数式は縮小されて小さくなっていませんか

連絡先表記

□連絡先は１×１の表の中に記載されていますか

□1段目の最下端に配置されていますか

□連絡先は9、所属は10になっていますか

参考文献表記

□番号が1桁のときは行頭を半角明けて改行は2字下げにし、番号が2桁になった時に行頭が揃うようにしてください。

[見本]

[9] 著者Ｄ，研究会等からの引用例，電気学会リニアドライブ研究会資料，LD-03-218, 2003.

[10] D. AuthorD, Reference paper from international conferences, *Proceedings of the 10th International Symposium on Applied Electromagnetics and Mechanics*, pp. 8-10, 2003.

□上記見本のように表記されていますか

□記載する必要のある項目は，①著者名（和文文献は姓のみ、英文文献の例はA. AuthorA），②タイトル，③出典，④ページ（論文番号、講演番号），⑤発表年です。英文文献の場合③出典は斜字体です。

□著者は全員が原則ですが，多数の場合（４名以上）は，４名以降について日本語であれば「他」，英文であれば，”et al.”を用いて省略してもかまいません

□英文著者の最後の著者を"and"で区切っていますか

□区切りは，和文全角カンマ「，」，英文半角カンマ＋半角空白”. “とし，行末は半角ピリオドです

□HPやオンライン情報等の参照の場合は，参照した日付を明記していますか

チェック者ご所属：

チェック者ご氏名：

論文題名：

日本AEM学会誌　著作権譲渡書

（MAGDA2022同時投稿用）

論文題目：

著者名（全員）：

所属機関（全部）：

著者全員は，「AEM学会誌への投稿のてびき」の著作権に関する記述を理解し，以下の諸項を確認の上，上記論文の著作権を日本AEM学会へ譲渡する。原著者が，論文・記事の全文または一部を複製，翻訳・翻案などの形で利用する場合，本会はこれを妨げない。ただし，全文を複製の形で他の著作物に利用する場合は，事前に本会へ文書で申し出てその承諾を得なければならない。

1. 該当論文は，過去に公開されたことがなく，他の出版物への公開予定もないこと。ただし，MAGDAコンファレンスなどの本学会主催の会合での発表されたものを除く。
2. 該当論文が他の著作物の著作権を侵害していないこと。転載許諾が必要な引用については，その許諾を得ていること。
3. 該当論文の内容に本質的な貢献を行った人は全て著者に含まれていること。
4. 該当論文の内容の公開について，必要な場合は著者の所属機関のしかるべき権限を有する人の同意を得ていること。

著者（複数の場合は代表者）氏名：

署名：　　　　　　　　　　　　　　　　日付：

（以下は，著者の所属機関で著作権譲渡に責任者の承認が必要な場合に使用）

責任者氏名：　　　　　　　　　　　　　　役職：

署名：　　　　　　　　　　　　　　　　　日付：